



年 組 名前

道新で  
ワークシート

## 減らぬシカ事故

## 見えぬ有効策

列車がエゾシカをはねたり、ひいたりする事故が後を絶たない。事故件数は20年前の4倍に増えているが、エゾシカ生息数が増加する中、対応に限界があるのが実情だ。道東では急ブレーキによる車輪損傷を防ぐため、徐行運転を余儀なくされるなど、列車の運行に大きな影響を及ぼしている。除雪された線路上は、シカにとって「居心地のいい場所」になっているとの指摘もあり、有効な対策が見当たらないJR北海道や自治体は頭を悩ませている。

## 列車運休・遅れ JR危機感

道内のエゾシカ推定生息数と列車支障件数の推移



※道の資料より作成。22年度の推定生息数は集計中



千歳線の線路脇に設置されているシカの侵入防止柵。柵のない場所などからの侵入が相次いでいる

JRによると、列車とシカの事故件数は2002年度に718件だったが、12年度には2377件に。さらに22年度には、過去最大の2881件に達した。特に最近では道央や道南の増加が目立ち、室蘭線では17年度に88件だった事故件数が、22年度に242件と、6年間で2.8倍になった。線路上のシカを見つけて停車し、列車の運行が遅れたケースなどを加えた「支障件数」となると、さらに増加が激しい。道の統計によると、22年度は4273件で、02年度から約6倍に増えている。

## 生息数増が要因

事故激増の最大の要因は、生息数の増加だ。道エゾシカ対策係によると、02年度に約44万頭だったエゾシカは11年度に最多の約77万頭に達し、一時減少したが、21年度も約69万頭いると推定されている。道南や後志管内は過去に生息数が少なく、この数字には含まれていないが、同係は現在3万〜20万頭が生息しているとする。

1970年代に道内で2万人弱いたハンターが、21年度に約6600人となる

など、大幅に減少。駆除にあたる経験豊かなハンターが比較的少ない道央や道南で生息域が広がっているとみられる。エゾシカは繁殖力が強く、捕獲をしないと「1年で約2割以上増える計算」（同係）という。

花咲線と釧網線では、昨年10月から11月にかけてシカが線路上に飛び出した際の急ブレーキで、車輪の損傷が相次ぎ、列車88本が運休。これを受けJRは、昨年12月から今年3月まで計画的な減速運転を余儀なくされた。JRは相次ぐ運行遅れや車両修理に危機感を抱いており「経営にも影響が出る。かなり問題視している」（綿貫泰之社長）。

だが「特効薬」となる対策は見いだせていない。JRは96年度からシカの侵入防止柵の導入を進め、昨年度も室蘭線と根室線で約2・3キロを新設。これまで計13億円をかけて約126キロに柵を設置してきた。ただ、JR北海道の営業距離2336キロには遠く及ばず、柵のない場所や破損した柵の隙間からの侵入が相次いでいるという。

道は18日、関係省庁や研究者とつくる有識者会議で個体増につながるメスの積極的な捕獲や、さらなる実態把握の必要性を確認。同会議の提言などを踏まえ、対策を練るが、エゾシカの個体数の大幅な減少にはつなげていない。

## 20年で事故4倍

過去20年でエゾシカの生息数が1.6倍に増える中、列車の事故が4倍に激増したのはなぜか。

シカの生息に詳しい道総研エネルギー・環境・地質研究所自然環境部の稲富佳洋主査(44)は線路周辺では猟銃が撃てない上、冬季は定期的に除雪されており「シカたちにとって線路が居心地が良く、『安全な場所』と学習している可能性がある」とみる。その上で「鉄道会社が持つ出沒情報を自治体などと積極的に共有し、駆除につなげられれば、事故件数が減るのではないか」と話す。

道エゾシカ対策係によると、現在、自治体がハンターに依頼して行っているエゾシカ駆除は、農作物被害を受けたものが主で、交通障害を減らすための駆除は「ほとんど行われていない」という。(加藤祐輔)



年 組 名前

---

# 道新で ワークシート

## 【会話】

南 先週も線路でシカがはねられる事故が起きていたね。①北海道のシカは増えているのかな？

星野 どうだろうね。でもこの前読んだ記事では、室蘭線の列車とシカの事故件数は、6年間で2.8倍になったらしいよ。

中山 3倍近いね。でも、なんでこんなに事故が増えたんだろうね。

山田 シカにとって、線路の上は（ ② ）で撃たれないし、冬場は定期的に（ ③ ）されるから、過ごしやすいらしいって聞いたことがあるよ。

石井 そうなんだ。④シカと列車の事故を増やさないためには、どんな方法が考えられるかな……。

《 1 》 【会話】の線①「北海道のシカは増えているのかな？」について、記事を参考に以下の選択肢のうちから、正しいものを一つ選びなさい。

ア 北海道のシカの推定生息数は、2001年から2021年まで右肩上がりで上昇している。

イ 北海道のシカの推定生息数は、2001年から2011年まで右肩上がりで上昇している。

ウ 北海道のシカの推定生息数は、2011年から2021年まで右肩下がりで下降している。

エ 北海道のシカの推定生息数は、2001年から2021年まで右肩下がりで下降している。

《 2 》 【会話】の（ ② ）と（ ③ ）に当てはまる言葉を、【記事】からそれぞれ漢字二字で書き抜きなさい。

② 

--	--

③ 

--	--

《 3 》 【会話】の線④について、【記事】の内容を参考にどのような方法が考えられるかを書きなさい。